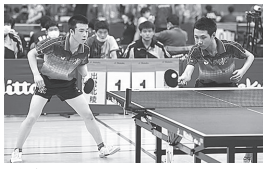
雲出
北陵月報
No.453
令和5年5月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社　印刷

総体に向け、実りある試合に


ダブルス優勝の佐藤(右)・小野組

5連覇を達成した団体戦メンバー

卓球部

男子団体3年連続14回目の優勝(5連覇)!!
個人戦シングルス・ダブルス共に優勝!!

第70回中国高等学校卓球選手権島根県予選大会
時　4月28～30日
於　カミアリーナ

〈男子団体〉**優勝**
〈男子シングルス〉
優勝　佐藤卓斗（3-4北陵）
2位　小野泰和（2-5北陵）
3位　肖　騏駿（1-3広雅）
〈男子ダブルス〉
優勝　佐藤卓斗・小野泰和 組
3位　小川さくら（3-3平野）・黒田昌秀（2-5麹町）組
3位　大村　心（1-3西谷）・肖　騏駿 組
※県予選を突破したシングルス8名、ダブルス3組が県代表として中国大会に出場。

シングルス優勝の佐藤選手

○大会総評
団体戦は出場した選手がそれぞれ持ち味を発揮し、14回目の優勝を果たすことができた。決して慢心することなく、6月の県高校総体でも完全優勝できるようにチーム一丸となって戦いたい。
（顧問　古瀬泰之）

女子ソフトテニス部

第11回島根県高等学校ソフトテニスシングルス大会
時　4月22日
於　浜山公園テニスコート

2　位　神田桜奈（3-5浜東）
3　位　岡本涼香（2-5浜東）
ベスト8　水永花音（2-5益東）・木村香夏（2-3斐東）
大庭萌愛（2-3益東）・川角莉子（2-5大社）

2位神田選手(右)と3位岡本選手

○大会総評
シングルス強化が実った大会であった。経験として次に繋げていきたい。

島根県高等学校ソフトテニス中国大会島根県予選
時　4月28～30日
於　浜山公園テニスコート

〈団体戦〉**優勝**
2回戦　本校　2－0　益田翔陽
3回戦　本校　2－0　石見智翠館
準決勝　本校　2－0　松江西
決　勝　本校　2－1　松江南
〈個人戦〉
2　位　水永花音・大庭萌愛ペア
3　位　木村香夏・岡本涼香ペア

団体優勝メンバー

○大会総評
団体優勝を自信にして、さらにステップアップしていけるように頑張ります。応援有難うございました。

全日本ソフトテニスシングルス大会
時　5月13～14日
於　岡山県備前テニスセンター

【出場メンバー】水永花音、木村香夏、岡本涼香
○大会総評
本校からは3名が出場した。いずれも一回戦突破とはならなかったが、各世代のトップが集結する全国大会で貴重な経験を積むことができた。更にステップアップしていけるよう頑張りたい。
（顧問　金森　快）

男子ソフトテニス部

県高校ソフトテニスシングルス大会
時　4月22日
於　浜山公園テニスコート

ベスト16　川角光夢（1-2麹東）
○大会総評
1年生らしく思い切ったプレーで勝ち上がったが、力の差を感じる大会となった。今後に繋げていきたい。

ソフトテニス中国大会県予選
時　4月28～30日
於　浜山公園テニスコート

〈団体〉5位
【団体メンバー】田中蒼（3-5出一）、堀江結太（3-4出一）、伊藤快（2-4出三）、板垣優吾（2-4斐東）、高橋海璃（2-3斐東）、田邊航汰（2-1横田）、川角光夢、岡田隆聖（1-4麹東）
1回戦　③－0　大社
2回戦　②－1　隠岐島前
準々決勝　0－②　安来
5位決定戦　②－0　江津工業
〈個人〉
ベスト16　川角光夢・高橋海璃
ベスト32　伊藤　快・堀江結太
○大会総評
県総体のシード権を決める大切な試合であったが、団体、個人共自分の力を出すことができず悔しい結果となった。総体までの残りの期間を大切にし、しっかりと精進したい。
（顧問　河野高幸）

テニス部

県高校個人テニス選手権大会
時　4月29日
於　浜田・益田

〈男子ダブルス〉3回戦敗退
〈男子シングルス〉2回戦敗退
〈女子シングルス〉
ベスト16　長子七海（2-1斐西）
○大会総評
男子については、今年度も有望な新入生が多い今大会で、自分の力を発揮できたと思う。また女子については、11年ぶりに個人戦のシード権を獲得できたことは賞賛に値する。県総体に向け、自分のための練習に励んで欲しい。

中国ジュニアテニス県予選大会
時　5月20・21日
於　浜山公園

〈16歳以下男子シングルス〉2回戦敗退
〈18歳以下男子シングルス〉1回戦敗退
〈18歳以下女子シングルス〉2回戦敗退
○大会総評
県総体前の調整試合として臨んだが不完全燃焼に終わった。県総体まで残り少ないが練習に励み、自分のテニスを展開して欲しい。
（顧問　石川剛亘）

野球部

島根県春季高等学校野球大会
中部地区予選　時　4月22日　於　松江市営野球場

本　校	0	0	1	0	0	3	1	2	0	7
安　来	1	0	0	1	1	0	1	0	0	4

県大会　時　4月28日　於　松江市営野球場

島根中央	3	0	2	0	0	0	1	0	0	6
本　校	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3

○大会総評

今大会は、ベスト16で大会を終えることとなった。選手達は冬場に培った練習の成果を存分に発揮してくれた。格上の相手に対して、堂々と戦う姿は夏の大会へ向け弾みとなると感じた。更なる高みを目指して、出雲北陵の野球に磨きをかけていきたい。一般の観客も入場が許可され、当日は多数の方々に球場へ足を運んでいただきました。応援有難うございました。

（顧問　畑　宗一郎）

陸上競技部

第77回出雲陸上競技大会
時　4月15・16日　於　浜山公園陸上競技場

〈男子〉
加藤優之介（3-3 斐西）　やり投　7位
東原　舜（3-5 出三）　400m　7位
足立康佑（2-4 斐東）　走高跳　8位
〈女子〉
矢野有紗（2-2 河南）　800m　6位

第78回島根陸上競技選手権大会
時　5月4・5日　於　益田

倉橋・河原・小堀 中国選手権出場権獲得！

〈男子〉
倉橋歩夢（3-3 出三）　三段跳　6位
河原栄太（2-6 平田）　3000mSC　8位
〈女子〉
小堀壱華（2-5 出一）　5000m　3位

○大会総評

春の大会を振り返ると、昨年度入賞にあと一歩だった選手の活躍が目立った。5ヶ月間の冬期練習は、練習場所に苦慮したが、それぞれの種目の専門性を工夫しながらやり遂げることができた。

5月末に開催される県高校陸上大会では全員がベストを尽くし、一人でも多く中国大会に出場できるよう頑張りたい。

（顧問　別所美喜子）

新入生オリエンテーションを実施
時　4月10・11日

本校では中学校と高等学校の新入生が合同でオリエンテーションを行っている。学校長講話をはじめ、校舎見学や礼法指導等を二日間に渡って行い、本校生徒としての心構えを学んだ。二日目の最後には歓迎演奏会を開催し、音楽コース在籍の吹奏部・合唱部・弦楽クラブの生徒による独奏・独唱が披露された。

一斉書写
時　4月18日

本校の恒例行事である「一斉書写」を実施した。これは集中力を養い、日常の落ち着きや授業に臨む心構えを整えることを目的としている。生徒達は静かで緊張感のある雰囲気の中、それぞれ真剣に取り組んでいた。

教職員ICT研修会
時　4月26日

本校は、授業に学習用タブレットを活用している。教職員は定期的にICT研修を行っており、本年度1回目となる研修を行った。

3つのグループに分かれ、授業支援ソフトスカイメニューやMicrosoft SharePoint、Google Jam BoardなどのICTアプリの実践的な使い方を教員間で共有した。ICT教育については、他教科の実践から学ぶことも多く、教員全体のスキルアップを図ることができた。

教職員奉仕作業実施
時　4月28・5月10日

4月28日、5月10日の放課後に教職員奉仕作業を実施し、校地内及び校地外周の溝掃除や道路脇の除草作業などを行った。いずれも短時間の作業であったが、安全で気持ちの良い環境づくりのために皆が意欲的に取り組んだ。

高校生徒総会開催
時　5月11日　於　体育館（ライブ配信）

今年度もライブ配信により生徒総会を実施した。須谷生徒会長のもと、生徒会執行部並びに専門部から今年度の活動について提案があり、慎重に審議された。今年度のスローガンは「Share Smile～ありのままの自分で～」で、みんなで笑顔を共有したいという思いからつくられたものである。コロナも落ち着き、笑顔が溢れ、活気ある生徒会を全校生徒が協力して盛り上げてくれることを期待している。

吹奏楽部

第27回吹奏楽部定期演奏会
時　5月6日
昼の部：14時開演
夜の部：18時30分開演
於　出雲市民会館大ホール

27回目となる吹奏楽部定期演奏会を開催した。新体制となって始めての本番であったが、生徒達はこの一ヶ月間よく努力し、最大限の準備をして本番を迎えた。昼の部・夜の部と2回公演を行い、延べ1500名を超えるお客様をお迎えし、会場が一体となるコンサートとなった。

スペシャルゲストには、ホルン奏者の森博文氏をお招きした。観客を魅了する美しい音色と卓越した技術、色彩豊かな音楽表現に観客は大いに盛り上がり、共演をした部員達にとっても大変貴重な経験となった。

この演奏会を開催することができたのも、地域の方々や保護者会の皆様をはじめ、多くの方々の支えがあってのことである。部員一同感謝すると共に、今後も「地域に愛されるバンド」を目指し変わらず精進していきたい。

（副顧問　竹内康貴）

中学校

卓球部

第46回島根県中学生卓球選手権大会

時　5月3日
於　松江市総合体育館

【男子団体】**優勝**
決勝　本校　3－0　松徳学院
【男子個人】
3　位　三好蒼空（中3岩倉）
ベスト8　波多間怜偉（中2龍王）
　　金丸　陽（中3西山）

○大会総評
　団体戦で優勝できたことが大変嬉しかった。夏に向けていい準備をしていきたい。

第74回岡山近府県卓球選手権大会（中学以下の部）

時　5月4日
於　ジップアリーナ岡山

【男子個人】
2　位　金丸　陽

○大会総評
　優勝のチャンスがあっただけに大変悔しい結果となった。この経験を今後の大会に生かして欲しい。
（顧問　相場翔太）

野球部

全日本少年軟式野球大会出雲支部予選

時　4月15・22日
於　斐川球場・浜山少年球場

2回戦　本校　3－1　出雲一
準決勝　本校　1－8　平田
3位決定　本校　0－7　大社

出雲部中学校春季野球大会

時　5月3・4日
於　湖陵球場

1回戦　本校　4－0　多伎
2回戦　本校　4－7　大社
（顧問　手錢修司）

テニス部

中国ジュニアテニス選手権県予選

時　4月30日
於　松江総合運動公園

〈14歳以下男子シングルス〉　2回戦敗退

○大会総評
　シード選手相手に敗退した。練習ではフォームを修正するなど、意欲的に取り組み精進してもらいたい。

全国中学生テニス選手権県予選

時　5月6日
於　松江総合運動公園

〈男子シングルス〉　1回戦敗退

○大会総評
　2人とも勝利には届かなかったが、次の公式戦で勝利をつかめるよう、敗戦を分析し、練習に励んで欲しい。

RSK杯全国選抜ジュニアテニス選手権県予選

時　5月20日
於　松江総合運動公園

〈男子シングルス〉　2回戦敗退

○大会総評
　中学1年生が出場したが、勝利することはできなかった。次の大会までしばらく期間があるので、じっくり鍛えていって欲しい。
（顧問　石川剛亘）

第1回合同道徳

時　5月8日
於　北陵ホール
講師　菅田修司副校長

　今回は「生き方」をテーマにした菅田副校長のお話であった。

【生徒の感想】
　今日はどうすれば自分らしく生きられるかについて教えていただきました。
　まず、何事も人のせいにしないことです。失敗（ミス）をしても人のせいにせずに自分のせいだと認め、その失敗を受け入れていくことです。
　二つ目は環境が人を育てるということです。環境は特に自分の気持ちを変え、環境を整えることで人生の半分を決めることになります。環境が良くなると一つのことに集中することができ、考える力も向上するからです。
　三つ目は物事に向き合い続けることです。自分の苦手なことも何年か続けたらその努力は報われるということを教えていただきました。
　最後に、未来の自分を支えてくれるのは、結局今まで生きてきた自分ということです。今まで努力してきた自分が未来を作るということです。これからは未来の自分について考え、自分らしく生きられるように努力をしていきたいです。
シヴィキング　一茶　イシュミール（中1今市）

授業参観・保護者会総会開催

時　5月12日
於　北陵ホール他

　去る5月12日、5時間目には授業参観を、また6時間目には保護者会研修を、出雲警察署生活安全課　福間宏美様からネットワーク被害に遭わないための心構えや注意について講話をしていただいた。
　続いての総会では、昨年度の事業及び決算の報告、今年度の役員選出及び事業計画と予算案の審議がなされ、すべて承認された。
　本年度保護者会新役員の皆様は次の通り。

会　長　岩﨑　圭（3年）
副会長　藤原　祐樹（3年）
副会長　和田　正志（2年）
監　事　奥田　淳三（2年）
監　事　ロバート・シヴィキング（1年）

中学校生徒総会開催

時　5月12日

　5月12日、生徒総会が行われた。生徒会執行部と各専門委員会の目標と活動内容を発表し、達成したい理想の学校像を共有することができた。今年度の生徒会執行部の目標は「上下一心～上下関係なく、心を一つにする～」で、藤原希成生徒会長は全校生徒の「和」を大切にしたい思いを力強く語った。全校生徒で、活気あるより良い出雲北陵中学校を作っていくことを期待したい。

中学1年 サン・レイク宿泊研修

時　5月18・19日
於　島根県立青少年の家

　中学1年生21名は一泊二日のサン・レイク宿泊研修に参加した。
　初日のカッター訓練では、なかなか全員の息が合わず険しい表情を浮かべていたものの、終盤は全員で大きな声を出しながら最後まで漕ぎ切ることができた。疲れた後に、全員で協力して準備をしたバーベキューの味は格別のようだった。
　二日目は、レザークラフトを行い、それぞれの創造力が発揮され、思い出に残るオリジナル作品を作ることができた。

　集団での実践活動を通して、協力することの大切さを体感し、クラスの仲を深めることができた。一方で、クラスや個々の課題も見つかったため、今後に生かしてより良い学校生活に繋げていきたい。

作品と研究

中学3年生の国語の授業で『百科事典少女』を読みました。「Rちゃん」は読書好きな女の子。学校では堂々とした一人ぼっちで誰とも話をしません。

ある日、「私たち」は、「読書休憩室」というところで友達になりました。「Rちゃん」は私が読む本は細部まで鮮明に覚えているほど読破していますが、実は百科事典を読むことが大好きなのです。そういう「Rちゃん」の読書の仕方について感想を書いてみました。

岩﨑　彩（中3 湖陵）

私はRちゃんがすごく本を好きなことが気になりました。Rちゃんは百科事典やお話に熱中しだすと、周りのことが見えなくなり、百科事典を抱え込むようになったりします。そういう読む姿勢からRちゃんが百科事典を本当に好きだということが表れているなと感じました。私はRちゃんのように百科事典ではなく、「私」のように嘘のお話の方が好きです。しかし、Rちゃんのように周りが見えなくなるまで熱中できるということはいいことだなと思います。私もそういう本に出会いたいと思いました。

金丸　陽（中3 西山）

僕はRちゃんの読書の仕方が気になりました。それは今読んでいる巻を読み終わるまで次の巻を読まないところです。自分は一冊の本を読みきったりすることがなかなかないのですごいと思ったからです。僕は普段本をあまり読みませんが、読書はとても大切なことだと感じました。たとえば、読書をすることで読むスピードが上がったり、漢字を少しずつ読めるようになったりすると思うからです。

これからは、自分の興味をもっている内容のものから、最後まで読みきるようにしたいと重いました。

神田　莉花（中3 今市）

私はRちゃんが子犬のべべに百科事典を読み聞かせていることが気になりました。それは、なぜ「私」ではなく、まだ子犬のべべに百科事典などを読み聞かせているのか不思議に思ったからです。私だったら、言葉が通じているか分からない子犬に読み聞かせるより、言葉が通じている人に読み聞かせたほうが、相手の反応や表情がはっきりわかるので、そうすると思います。だから、Rちゃんの読み聞かせる相手について気になりました。私は人見知りなので、読み聞かせる相手が人だと気遣ってしまうことがあります。けれども、子犬が相手だと気を遣うことも、緊張することもないので、Rちゃんの考えはいいと思いました。Rちゃんの考えを参考にして、本を読むときは声に出して読もうと思います。

國分　壮（中3 四絡）

僕はRちゃんがが読んだ本の内容を隅々までしっかり明確に覚えていることが気になりました。理由は、自分は一時間前に読んだ本の内容をすぐ忘れるのに、Rちゃんはけっこう前に読んだ本でも覚えていて、どんな記憶力をしているのかなと疑問に思いました。僕はRちゃんと違って最初の部分や、山場や、最後の大事な部分だけでも覚えていればいいかなという考えでした。だから、Rちゃんはすごい人だと感じたので、少し見習って読み方を工夫してみようと思いました。

田中　美那（中3 塩冶）

私はRちゃんは、どうしてそんなに本当の話にこだわるのかと思いました。なぜなら、Rちゃんは、必ず本当の話を読んでいるうえに、「私」が好む嘘の話に対して批判的なことを言っていたからです。文庫本などの絵本以外の本は、人によってとらえ方が変わり、主人公の顔なども想像で話が進むためとても面白いと思っています。私は本の世界に引きずり込まれていく感覚がとても好きです。

間島　美月（中3 陽北）

私はRちゃんと読書の仕方を比較すると、ページを飛ばさないところが私と真逆で、本当の話が好きなところは一緒だと思いました。私は、最後どのような結末になるのかを知りたくて最後のほうから読んでしまいます。私が好きなのはミステリーやホラー、事実のことなどといった内容です。読書に熱中できないので、少しだけRちゃんに憧れます。読書を通して、得られる知識もあるので、まずは一カ月に一冊、本を読めるようにしたいです。

周藤誇太郎（中3 四絡）

僕がRちゃんの読書の仕方について気になったところは、時どき子犬のべべに百科事典を読み聞かせるところです。理由は、犬に読み聞かせても何の意味もないのになぜ犬に向かって読み聞かせているのだろうと思ったからです。僕の読書に対する考えは、読書は僕に考え方を教えてくれる人生の教科書のようなものだと思っています。理由は、本を読むと人生の考え方がどんどん変わっていき、いろいろな選択肢があることが分かったり、モチベーションを高く持つことができたりするからです。だから、僕は、もっと本を読み、その本に書いてあることを実行し、僕の人生をよりよくしていきたいと思っています。

今月の1枚「voice」
飯塚美紗希（2-7 平田）